

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和6年 6 月 30 日

大分県知事 殿



提出者

住 所 大分県玖珠郡玖珠町山下691番地

氏 名 (有) グリーNSTOCK八幡

代表取締役 梶原 美行

電話番号 0973-72-5033

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	グリーNSTOCK八幡
事業場の所在地	大分県玖珠郡玖珠町山下691番地
計画期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	01 農業
② 事業の規模	肉用牛 230頭
③ 従業員数	5名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	家畜ふん尿： 自己で堆肥化 家畜の死体： 化製場へ委託処理

(日本工業規格 A列4番)

## (第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図) 場長 (廃棄物総括担当者) 廃棄物処理方針の決定 廃棄物処理に関わる各種項の決定  事務員 (廃棄物実務担当者) 廃棄物の理計画の作成 委託契約の締結事務 産業廃棄物の管理票の交付・管理 行政等への各種報告			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	家畜ふん尿	家畜の死体
	排 出 量	2.103 t	2 t
	(これまでに実施した取組) 該当なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	家畜ふん尿	家畜の死体
	排 出 量	2.103 t	2 t
	(今後実施する予定の取組) 該当なし		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 該当なし		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 該当なし		

## (第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	家畜ふん尿	家畜の死体
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	1.617 t	t
	(これまでに実施した取組) 堆肥化		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	家畜ふん尿	家畜の死体
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	1.617 t	t
	(今後実施する予定の取組) 堆肥化		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	家畜のふん尿	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	785 t	t
	(これまでに実施した取組) 該当なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	家畜ふん尿	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	785 t	t
	(今後実施する予定の取組) 該当なし		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（                      年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組） 該当なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組） 該当なし		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	家畜の死体	
	全 処 理 委 託 量	2.0 t	t
	優良認定処理業者への処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処 理 委 託 量	t	t
	（これまでに実施した取組） 家畜の死体は化製場に委託し処理している		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	家畜の死体	
	全 処 理 委 託 量	2.0 t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 家畜の死体は化製場に委託し処理		
※事務処理欄			